

みなさん、おはようございます。新しい年を迎えました。本年もよろしく申し上げます。

昨年は子（ネズミ）年でした。なかでも庚子（かのえね）の年と言って、歴史的にも大きな変動が起こる年と言われていました。昨年この始業式で、私は、日本においては「東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので、素晴らしい大きな変動の年になることと思います」と述べましたが、現実とは全く逆で、最悪の変動の年となりました。

今年は、丑（うし）年です。丑（うし）は十二支の2番目で、子（ネズミ）年に蒔いた種が芽を出して成長する時期とされています。丑（うし）年には、先を急がず目の前のことを着実に進めることが将来の成功につながっていくといわれています。新型コロナウイルスの蔓延で、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれませんが、地道に突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいものです。

さて、今日から最終学期がスタートします。3学期は大変短いですが、進級、卒業というとても大切な集大成の学期になります。

そこで、各学年に叱咤激励の言葉を送り、新年の挨拶としたいと思います。

まず、1年生のみなさんへ

1年生は、1学期非常に落ち着いて、いい印象を受けましたが、夏休み後の2学期から少しずつ落ち着きかける面が出てきました。特に心配なところは、中学校と高校の違いが本当にわかっているのかという点です。中学校時代は成績が良くなくても、学校を休んでも進級卒業は可能でしたが、高校はそうはいきません。なかでも時数不足が一番の問題で時数不足があると成績がソコソコ取れていても進級できません。もう一度、この点の認識を新たにして、全員が進級できるように頑張ってください。

次、2年生のみなさんへ

あとわずか最上級生になります。体育祭で3年生の雄姿を見て、次は自分たちだという思いがしっかりと引き継がれたものと確信しています。下級生から信頼、尊敬される最上級生になってほしいと思います。よろしく申し上げます。

最後に3年生のみなさんへ

色々な高校時代の思い出がコロナに奪われ、卒業アルバムも例年に比べるとあるべき思い出の場面が少ないことと思います。我慢を強いられた年でした。ただ、3年生が中心となって実施した体育祭はとても感動しました。コロナによる日常の閉塞感を完全に打破してくれました。終わってからの下級生をねぎらう最後の円陣に、今の3年生の大きな成長を見ることができました。学校行事の素晴らしさを再認識させてくれた一コマでもありました。高校生活も残り少なくなりましたが、全員が進路を決め、全員が笑顔で卒業できるように、最後の踏ん張りを見せて下さい。くれぐれも軽率な行動をして、親や担任に迷惑をかけることのないように、十分気を付けて生活してください。

それでは、今学期も育てたい生徒像である「基礎・基本を身につけ、将来像を持った明るく活力ある生徒」を目指して頑張りましょう。2021年が皆さんにとって、素晴らしい年になることを願って、始業式の挨拶を終わります。